当部は、現在までに数々の栄光を手にし、多くの日本代表選手を輩出してきました。しかし、輝かしい結果を収めた選手の中には、高校時代に実績がない選手や、大学から競技を始めた選手が数多くいます。

その全ての選手に共通していたのは、「誰にも負けたくない」という熱く強い意志です。

トレーニング環境やコーチ陣など、強くなることができる環境は整っています。
ボート競技で日本一になるために必要な最後のピースはあなたの意志です。
ぜひ、我々と一緒に日本一を目指しましょう！！

中央大学学友会体育連盟ボート部

〒335-0024
埼玉県戸田市戸田公園6-27
中央大学ボート部合宿所
chuo.rowing.team@gmail.com

ホームページの新入生用ページも併せてご覧ください。

Long range

CHUO UNIVERSITY ROWING CLUB

大切にしているのは「大きく強く」の精神です。
水上だけでなく、陸上トレーニング、生活面においても
「大きく強く」に繋がるよう、何事においてもMaximum(最大出力)
で取り組むことを大切にしています。

テキスト

日本代表、社会人チームで活躍してきた経験豊富なコーチング
スタッフが指導に当たっています。
漕ぎの強さは、質の高い専門的なトレーニングからきているといっても過言ではありません。

Power

Vision

ボート競技を通して培われるスポーツマンシップを基に、
広く社会に輩出できる人材を輩出する

Mission

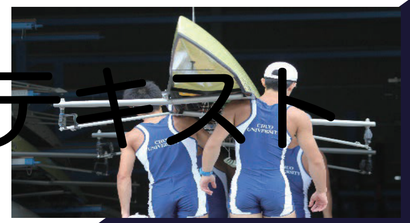
日本ボート界におけるリーディングクラブとして、
国内ボート競技及びスポーツ文化を牽引する

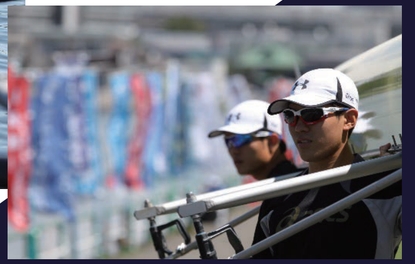
Interview

現役漕手　　宮浦真之(2015年入部)

中央大学学友会体育連盟ボート部は、勝つための集団です。
私は高校時代、勝つためにはどう行動したらいいのか、考えが至っておりませんでした。しかし当部には、「強くなろう」という意思があれば、そのための行動へとすぐに移すことのできる環境があります。
トレーニングだけでなく食事や睡眠といった日常生活において、どのようにしたら勝つことができるのかを考え、行動するようになりました。
「勝ちたい」という意思がある人、共に日本一を掴みましょう。

テキスト





OB　今井裕介(2004年卒業)

プロフィール
卒業後は社会人チームにて漕手、
日本代表として活躍。

Q1.中央大学の強み、魅力は何ですか。
力強さの中にスマートな動きがあり、荒々しすぎず丁寧すぎない、戸田の学生の模範となる漕ぎをするところです。私も学生時代は、“漕ぎを見られている”という意識をもって競技をしていました。

Q2.学生生活では、部活と学業をどのように両立させていましたか。
両立の秘訣は、大学の友達をつくることですね。
もちろん、興味関心をもち、授業にはきちんと出席していましたよ。

Q3.学生時代に、今井OB自身が大切にしていたこと、もっていた信念はありますか。
いつも「ポジティブ」であることを心がけていました。もっと言えば、自分の態度や発言に責任をもつということですね。私の座右の銘には「紳士たれ」というものがあります。私の考える「紳士」とは自分に厳しく正直で、他者を尊敬できる人間です。これは中央大学での貴重な経験から得られた、自分への誓いのようなものですが、社会人になった今でも大切な言葉となっています。振り返ると、中央大学ボート部に所属して一番成長できたのは「競技力」ではなく「人間力」だったのだと改めて感じます。

Q4.未来の新入生に向けて、メッセージをお願いします。
中央大学ボート部は大学チャンピオンを目指すというチームであり、卒業後もボート選手として、日本代表やシニア、社会人、その先のキャリアに繋がるため、選ぶ価値のあるチームだと思います。そして間違いなく、社会に通用する人間として成長できます。未来について不安が多いかもしれませんが、期待し、チャレンジする気持ちをもっていれば大丈夫だと思います。